

かみ

議会だより

3月定例会
第33号



今日からお友だち

いっぱい遊ぼうね

(長井幼稚園入園式)

— CONTENTS —

- 平成25年度予算 2～5
- 条例改正 6
- 住民の声 届くか (9人が一般質問) 9～13
- この人 ここにあり 16

一般会計

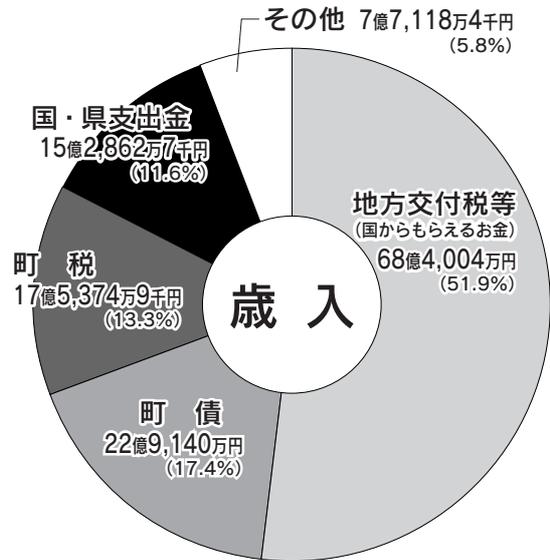
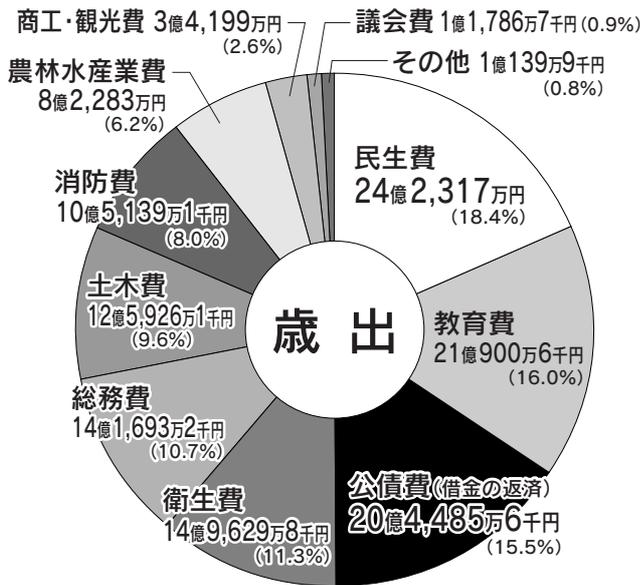
3月定例会

131億8,500万円 (前年対比7.9%増)

平成25年度一般会計・特別会計・企業会計の予算総額234億6千449万円の提案がありました。議長を除く15名の予算特別委員会(岡田公男委員長)を設置し、実質7日間にわたり予算質疑を行ない、水産物の販売促進・バイオマス活用・ごみ減量化等、多様な観点から町長並びに各執行部局を質しました。

最終日、本会議での採決は賛成多数により可決、成立しました。

委員会での主な質疑と答弁を記載します。



各会計の当初予算(前年対比6.2%の増) (単位:千円)

会計区分	平成25年度	平成24年度比較増減	比率(%)
一般会計	13,185,000	963,000	7.9
特別会計・企業会計	10,279,493	402,167	4.1
国民健康保険事業特別会計(事業勘定)	2,433,000	△ 27,000	△ 1.1
国民健康保険事業特別会計(直診勘定)	399,293	13,493	3.5
後期高齢者医療保険事業特別会計	276,505	△ 395	△ 0.1
介護保険事業特別会計	2,126,900	53,900	2.6
簡易水道事業特別会計	0	△ 521,900	皆減
下水道事業特別会計	0	△ 1,835,000	皆減
財産区特別会計	1,900	△ 1,000	△ 34.5
町立地方卸売市場事業特別会計	1,900	0	0.0
国民宿舎事業特別会計	25,691	△ 13,609	△ 34.6
矢田川憩いの村事業特別会計	30,122	△ 2,472	△ 7.6
宅地造成事業特別会計	13,710	7,349	115.5
公立香住病院事業企業会計	1,527,270	12,584	0.8
水道事業企業会計	1,120,596	392,711	54.0
下水道事業企業会計	2,322,606	2,322,606	皆増
合計	23,464,493	1,365,167	6.2

主な事業

◎創造と活力のあるまちづくり

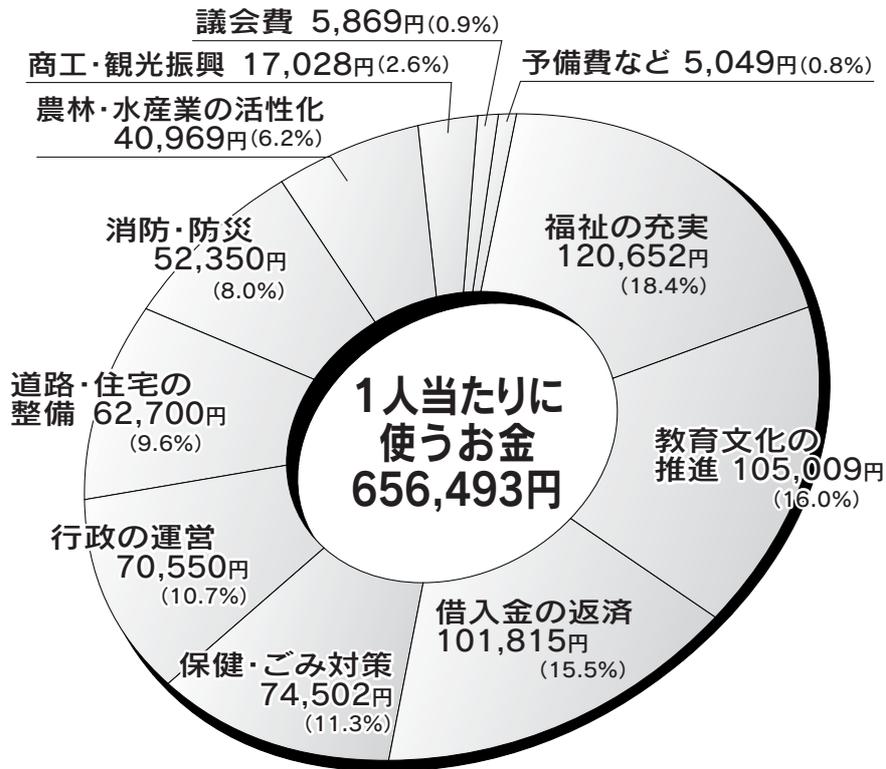
- ・海の文化館展示リニューアル 9,848万円
- ・香住駅段差解消事業 800万円
- ・バイオマス活用の推進 693万円
- ・小規模集落対策 298万円

◎教育の充実・創造

- ・学校間スーパー連携チャレンジプラン 163万円
- ・高校生下宿費補助金 96万円
- ・村岡小学校校舎改修工事 5億9,460万円
- ・香住幼稚園整備事業 1億8,950万円
- ・香住第一中学校整備事業 3,050万円

一般会計 町民一人当たりの使い道

(人口は平成25年4月1日現在 住民基本台帳 20,084人で計算)



一般会計に対して

反対討論 田野 哲夫 議員

北但行政事務組合事業は疑問に思う。なぜ民間業者に運営させるのか。均等割は0%にすべきだ。地域差が大きい。

賛成討論 小林 利明 議員

この予算は、暮らしに對する予算も多く含まれており賛成する。

反対討論 山本 賢司 議員

協働のまちづくりと言いつつ、各イベントを側面援助しにくい。小学校の統合を急ぐのは地域づくりに反する。小代給食センターの廃止も見えてくる。子育て支援、高齢者対策も他市町より遅れている。町の主体性がない。

国民健康保険事業特別会計に対して

反対討論 山本 賢司 議員

国保世帯の収入は減っている。ところが、一般会計からの繰り入れはルール以外はずせぬに7.3%の増税だ。国が責任を持つ社会保障制度であり、国に負担増を求めるべきだ。

賛成討論 小林 利明 議員

否決されれば住民の暮らしはどうなるか。反対討論の主旨は、本町だけでできることではない。

後期高齢者医療保険事業特別会計に対して

反対討論 谷口 眞治 議員

無料だった高齢者医療費が、現在負担を求められている。生活苦で支払えない高齢者がいる。廃止すべき制度として反対する。

賛成討論 小林 利明 議員

国で議論することをここですべきでない。修正動議の手段もあるが、なぜしないのか。この制度で救われる高齢者も多くいる。

討論

協働のまちづくりへ つなげ!!

一般 会計

総括

〔総括のみ
町長・教育長答弁〕

問 香住でマラソン大会を行なう動きがあるが、その支援は

答 動きは聞いている。地元の盛り上がりがあり、やることになれば、町は支援をしていきます。

問 小学校間の連携チャレンジプラン予算は足りるのか

答(教育長) 予算的に輸送が問題で、スクールバスや町のワゴン車のフル活用によってやり繰りします。

問 高校生の下宿補助金のため、地元受験生が入学できなくなるという疑問にどう対応するのか
答(教育長) 全くないとは言えない課題です。香住一中、二中の平成26年度卒業生が105名となる等町内2高校の状況は

厳しいですが、平成27年度から第一志望・第二志望高校受験制になるので、全国まで視野に入れた「魅力と特色のある学校づくり」が臨まれます。

企画 課

問 夢但馬2014の事業についての説明を

答 3区それぞれにメインとなる事業をします。村岡、小代は既存事業の拡充を行い、香住区では海の文化館周辺で集客イベントを想定しています。

総務 課

問 ひょうご防災ネットのテスト、訓練についてはどのように

答 現在防災ネットを利用しているテスト、訓練はしていませんが検討します。(防災香美ネットのテストメールを今年4月から月の初めに流すことになりました。)

財政 課

問 縁故地使用料を今後どのように考えているか
答 現在、縁故地使用は村岡区のみですが、小代区の縁故地の整理と同様に行ないます。

問 電源立地地域対策事業の主体的活用の方針は
答 国のエネルギー政策により発電用施設(矢田川発電所)の周辺地域の公共施設を整備するため交付され、今年度は消防積載車1台と小型動力ポンプ2台購入予定です。

町民 課

問 北但ごみ処理施設への直接搬入ごみの事業系廃プラは、どう処理するのか
答 基本的に受け入れてきませんが香美町議会からの全会一致での意見書も出されていますので検討はされます。しかし、最終的に処理施設での受け入れが困難な見込みとなれば排出事業者に対し

て大きな負担増にならないよう町の支援を図っていきます。

問 ごみ減量化対策事業の今後の課題は

答 ごみ減量化の必要性の啓蒙、事業者に対する生ごみ減量化の推進、その他紙類の分別回収の啓発、ダンボールコンポストの普及促進等です。

福祉 課

問 地域生活支援事業の拡充事業とは何か
答 経済状態により後見人等の利用が困難な方に対し、成年後見制度の家

健康 課

問 周産期医療センター負担金支出理由は

答 但馬地域の産科医療は施設や産婦人科医が減少し、周産期医療が守れません。但馬全体で周産期医療体制を構築するもので本町においても安定したお産やハイリスクな出産にも対応可能で不可欠です。



天気がよいのでお花見です



町長給与 75万2千円に

副町長・教育長・病院管理者も合わせて改定

町長・副町長・教育長・病院事業管理者の給与改正、余部鉄橋空の駅条例制定など15件の制定及び改正議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

町長・副町長・教育長・病院事業管理者のそれぞれ給与及び旅費に関する条例

・給与表

町長	81万8千円を75万2千円に改正
副町長	65万4千円を61万6千円に改正
教育長	60万1千円を56万4千円に改正
病院事業管理者	60万1千円を52万6千円に改正

質疑
問 町長の年棒500万円は何だったのか
答 子ども達の遊具の整備、学校の耐震化、公債費比率の改善に少しでも貢献したいという、現況を踏まえての提案でした。

全員賛成で可決

一般職員給与条例

質疑
問 なぜ55歳を超す職員を昇給させないのか
答 人事院勧告を尊重します。職員組合とも話し合い、了解を得ました。

反対討論 谷口 眞治議員
年齢で差別することは士気を低下させる。賃下げはデフレをますます深刻化するので反対する。

賛成多数で可決

射添会館条例

質疑
問 多目的ホールの利用状況、利用者の今後は
答 138件、4千人で

賛成多数で可決

賛成多数で可決

余部鉄橋空の駅条例

質疑
問 県から無償で受けて香美町が設置するのか。道の駅、空の駅、公園の3施設を町が全て維持管理するのか。県の施設は県が維持管理するのはないのか。
答 県が6億円の事業費で整備し、県の施設です。県と使用貸借契約をします。県との覚書で点検や工事は県、水道代・光熱費等は町が持ちます。町の観光施設として観光振興、地域の活性化につなげていきます。

賛成多数で可決

議員発議 議員定数条例

否決

議員定数16人を14人に削減は

提出者 寺川 秀志議員
賛成者 岸本 正人議員

提案理由

定数削減は、平成24年3月定例会において提案し否決となりました。しかし、選挙の日程が近づくと、定数削減を求める町民の皆様の声を多く聞き再度提案しました。

質疑
問 どのように考えて14人とするのか
答 定数削減を望む町民の声を聞き、今は14人でやってみることにした。

賛成討論 岸本 正人議員
近隣市町との人口比で見ると14人が妥当である。合併した町として地域代表で出る時代ではない。

反対討論 田野 哲夫議員
町の活性化につながる土台をつくり、住民の意見を反映するには、それなりの人数が必要である。

質疑
問 全議員で議論をつくり合議を得る努力はされないのか
答 全議員で議論するかどうかは考え方の問題であり、仲間と相談し提案してもよいと考えている。

1.4兆円

国の経済政策による補正予算

25年度事業 前倒しで補正

平成24年度 補正予算

一般会計

5億4千3百万円の補正

国の補正予算が1月22日に成立し、経済対策の迅速かつ円滑な実施を図るため1.4兆円の地域の元氣臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）が創設されたことを受けて、香美町も25年度予算の前倒しと決算を見据えた補正予算が提案され可決しました。

一般会計

質疑

問 多くの繰越明許費が示されているが未契約で今年度が終わるのでは。また、起債が増えるのではないか

答 すべて未契約で年度を繰越します。

この補正は25年度事業の前倒しなので起債の償還年度の計画等には変更はありません。

問 国の補正予算が遅れ、地方交付税が1千4百万円増額になっているが、町への影響はあったのか

答 影響はありません。昨年3月に降雪があったため増額しました。総額1億1千9百万円になります。昨年度は2億6百万円でした。

問 新規就農総合支援事業費が1千4百万円減額になっているが、来年度も実施するのか

答 11名の予定が2名になったための減額です。次年度も実施します。

問 香住区、村岡区の公民館修繕費が計上されているが年度内にできるのか

答 3月中に終了します。

問 除雪委託料3千万円の増額は

答 昨年は3月に降雪があったため増額しました。総額1億1千9百万円になります。昨年度は2億6百万円でした。

問 起業・創業支援事業で、1割の補助では起業は無理と思うが要綱の見直しは

答 現在の要綱で妥当と考えています。

反対討論 山本賢司議員

24年度の補正予算とされているが、25年度に未契約繰越で送り、来年4月の消費税増税につなげようとするものであり反対する。

賛成多数で可決

後期高齢者医療保険

質疑

問 近年、普通徴収から特別徴収へ移行しているが、それが滞納につながっていないか

答 若干つながっていますが、今後努力して徴収します。

香住病院

質疑

問 医師等紹介委託料が3百万円減額になっているが

答 いろいろな方面に委託していますが、次年度の医師体制が整えば報告します。

人

教育委員

次の方を教育委員として任命することに同意しました。任期は平成25年5月31日から4年間です。



小代区野間谷170番地
あさ くら とし ふみ
朝倉寿文さん

事

人権擁護委員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は平成25年7月1日から3年間です。



香住区森409番地の1
なか やま せい ちよう
中山正暢さん



村岡区日影668番地
にし むら けい いち
西村計一さん

香住小学校放課後児童クラブ整備工事 6千195万円

1月15日、臨時議会が開催され、請負契約が提案されました。主な質疑は次のとおりです。

質 疑

問 放課後児童クラブのスペースと定員数、現在の受け入れ人数は何人か

答 勉強室とクラブ室兼用の食事室の2室と給湯室等を設け、定員は50名です。現在41名を受け入れていきます。

全 員 賛 成 で 可 決

問 木造平屋建て、延床面積227.94㎡で加工した町産材を町が提供するが、その金額はいくらか

答 木材を全体で75㎡使います。うち50㎡は町内産です。構造材に約690万円、内装材に約290万円かかる予定です。

◆ 契 約 内 容

契約方法 制限付一般競争入札

契約金額 6,195万円

契約の相手方 香住区香住1420番地の3
田村・八次特別共同企業体

代表者 有限会社 田村 建築
代表取締役 田村 高春

構成員 八次 総建
代 表 八次 由光

議 案 の 審 議 結 果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議 案 名		議 員 名																
		小林利明	谷口眞治	田野哲夫	岡田公男	植田隆博	上田勝幸	西坂秀美	森利秋	浜上勇人	吉田増夫	西村伸一	山本賢司	岸本正人	西川誠一	寺川秀志	吉田範明	
3月 定例会	議案第10号	平成24年度香美町一般会計補正予算(第7号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第12号	平成24年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第33号	香美町射添会館条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第36号	香美町病院事業管理者の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	—
	議案第37号	香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第43号	香美町余部鉄橋空の駅条例を定めることについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	免議第1号	香美町議会議員定数条例の一部を改正する条例を定めることについて	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	—
	議案第19号	平成25年度香美町一般会計予算	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第20号	平成25年度香美町国民健康保険事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
	議案第21号	平成25年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席(採決の際に議場から退席し採決に加わらなかったことです)
 ※議長は採決に加わりませんので—で表示しています。

町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月14日と15日に9名の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



最終処分場の放流前管理貯留池



香住病院のあり方等検討委員会の設置を

北但の負担金は不公平、15%均等割(施設)で1億4千万円真水(一般財源)



田野 哲夫 議員

全て人口割と実績割の交渉で不公平是正へ北但の規約に決められたことです

を豊岡市へ貢ぎ、運営費は2億円貢ぐ事になる。中員管理者は「(香美町が)本当に大変ならば一度考え直しても」と答弁されたのだから、均等割を全て人口割と実績割にして真水を貢がなくても良い交渉を今の間にやらず費用を抑えていく考

えはないか問う。最終処分場契約と、水質管理責任はどこか問う。汚泥の質の対策は

町長 均等割等の負担は北但の組合規約で決められており、共通する部分は管理者も不公平はないと答弁しています。最終処分場の埋立は、28年8月まで延長、引き続き北但で使うことは内々お願いしています。水質管理は、今までの経過から香美町が管理していくこととなります。脱水汚泥(水分85%)を運搬許可業者に委託する予定です。



寺川 秀志 議員

町長自ら香住病院を守ると言えないか 病院管理者に責任と権限を与えています

管理者制度は、住民から理解されていない。町長は村岡の人なので香住の住民は香住のこと何も見てもらえない不安がある。そして少なからず病院に不満・不安を

もついても公立香住病院が大事なんです。町長自らが先頭に立つてやってもらわないと困るとの思いがある。トップが村岡の人でも香住病院はしっかりと町長自らが先頭に立つて香住病院は自分が守ると言えないか

町がしっかりと香住病院を守り、医師を守る責任があります。町民の皆さんから理解を得ていないということであればしっかりと理解をいただくよう努力してまいります。町民の皆さんは医療を守るためには町に責任がありますので病院の管理者に責任と権限を与えて守っていきたくと思っています。



豊かな森林資源を活かそう



西坂 秀美 議員

町長は所信表明で林野を活用し、環境に配慮したまちづくりや産業の活

性を表明している。森林資源を利用して木材産業、地元産材を使う住宅、建材等に結びつける取り組みをしていかないと一時的に公共建物等を使うだけで終わってしまう。環境を考え、これから先を見据え継続した取り組みでない。国から補助

町長 国や県のバイオマス活性化、利用計画をもとに香美町のバイオマスタウン構想に取り組んでいます。国も国内の森

林を活かす、木材を活かすことを目標に挙げ、将来見通しを考えると木材の熱源利用方法もあります。国県の方向性に沿って町もやっていきます。今まで町単独で取り組みましたが補助もあり森林組合と協議しながら山を活かすために町としてできる支援はしていきたいと思っております。

森林を活用して産業活性化を 森林組合と協議しながら進めます



暴論・学校耐震化と統廃合をリンク



谷口 眞治 議員

学校耐震化は、統廃合と別に考えるべきだ 地元意見を聞いて考えます

町長の所信を問う。
① 24年度の協働のまちづくりは、町長の独断専行ではないか。
② この子育て対策で少子化進行の歯止めとなるか。
③ 6次産業化で地域経済

活性化できるか。
④ 持続可能な財政の数値目標はあるか。
⑤ 問題山積の北但ごみ処理施設をこのまま本当に進めるのか。
⑥ 耐震化と学校の統廃合は別に考えるべき。教育長と町長の考えは

止めとなりません。総合的支援が必要です。
③ すぐ成果は出ませんが、必要なので進めます。
④ 具体的にはありません。
⑤ 大きな流れで進めていきます。
⑥ 統廃合は、地元の意見を聞いて考えます。耐震化は体育館だけで、校舎の耐震化は地元の意見を聞いて考えます。
教育長 ⑥ 校舎部分の耐震化は慎重に考えます。



野生動物との共生とは？

行政をはじめ多くの皆さんに協力いただき、捕獲、駆除、監視等を行なっていたが、いまだ野猿との闘いは続いている。一昨年以來、離れ猿の凶悪化がエスカ



吉田 増夫 議員

町長 大変な状況であるというので、危険な猿においては、積極的に

駆除していくということも認めていただいております。ただ、森林動物センターでは、壊滅しては困るということもございますが、住民に危険があるとするならば、県にその旨を十分申し、悪質な猿がいるということで、駆除を積極的にさせたいと思っております。

野猿対策の取り組みについて問う 悪い「サル」は積極的に駆除する

積赤字を長期借入に振り替える時、“単年度赤字を生じさせない”と、町費を入れてきた。村岡病院には入れず、町として二重基準ではないのか。平成18年に県がベット数19以下の有床診療所に落とそうとした時、村岡・小代の住民が、村岡病院

町長 養父市、香美町で構成している八鹿病院組合の中の病院であって、条例に基づいて分担金を出しています。村岡病院の

赤字を町独自で補填することは今は考えていません。ただ、村岡・小代の方々の生命を守る村岡病院です。しっかりと支援していきます。月に1回は市町長を交えた管理者との議論の場があります。有床診療所にならないよう言いますし、町民の皆さんにも村岡病院を利用していただきたいです。

村岡病院へ新たに町費を入れよ 生命を守る病院、支援はしたい



山本 賢司 議員

村岡病院への新たな町費投入を求める。香住病院では経営改善計画で累

住民にとって命の砦





リニューアルに期待大

山陰海岸ジオパークの再認定が来年になる、ジオマスターの養成がされているが私はこれを千人作ろうと常々言っている、それができれば話題になり観光客の足がこちらに



植田 隆博 議員

魅力ある海の文化館に ジオの発信ができる場所にします

向くのではと思っている。香美町の核となる海の文化館のリニューアルについて、ここはミュージアムとしてそれに精通した学術員、協力的な方々に協力を得て職員が使いやすく希望する内容の施設にすべきと思うがどのような考えでするのか

リニューアルはジオの発信場所として町民、関係者、専門的な方々で審査、デザイン協議をします。今後ジオの推進にあたり専門的な分野の人材が必要と考えていますが、なかなか見つからないのが現状です。

町長 ジオマスター、ガイドの養成はしっかりやります。海の文化館の



夢を持って子育てを



岡田 公男 議員

①周辺地域が取り残されない活性化する香美町の均衡がとれた地域の特

産業活性化、中小企業振興は 新たな支援の拡充を行ないます

性を活かした調和と活力あるまちづくりの予算であるのか②夢を持って子育て、子育てができる香美町の少子化対策に真剣に取り組むのか、人口減少を止める新しい施策は③産業活性化、中小企業振興、経済、景気回復、雇用の拡大にどう取り組

むのか

町長 ①限られた財源で事業の選択、集中に努め適切な予算編成で自信を持って取り組む内容です。地域局、小学校区を中心にして活性化を考えなくてはと思っています。②財政が厳しい中で十分

なことができなかった、他市町と比べても遅れていたのを努力をしています。出産祝金、児童手当支給、保育料軽減、子ども支援の充実を行ないます。③行政と関係団体がそれぞれの立場で役割分担、連携していく事が産業の活性化につながると思います。企業に新たに支援の拡充を行ないます。

その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
寺川秀志	1. 町道森道路の避難道整備について 2. 入札制度について
田野哲夫	1. 所信表明について問う 2. 香美町教育の重点について
谷口眞治	1. 教育長の教育基本方針を問う
西坂秀美	1. 4年間を統括して
山本賢司	1. 2期目に向けて夢をどう描く？ 2. 合校教育の推進を
吉田増夫	1. 町道岩小屋線の防災工事について
岡田公男	1. 旧大谷小学校体育館の早期解体撤去について 2. 老朽化の村岡区竹部橋の安全通行を維持していく対応について
植田隆博	1. 各種補助金制度について 2. 香住文化会館の使用について
岸本正人	1. 香美町認定ブランド制度創設について 2. 空き家対策の町の条例化について



耐震化される村岡小学校



岸本 正人 議員

町長は協働の町づくりの推進を重点施策として
いる。しかし、例えば村
岡小学校の耐震化工事で
は、幼稚園新築もあるが、
検討委員会等に全く住民
参加がない。PTA・区

長会なりへの説明及び参
加が必要だったのでな
いか。町の行政におい
ては、情報発信・協働の町
づくり、町民と共に練り
上げ、考え上げていく香
美町政をすべきではない
か。今後進めるプロジェ
クト事業はぜひ途中で
町民に情報発信すべきだ

必要との思いで、一緒に
知恵を出し、汗をかくと
いう基本的なことからそ
うして進めたいと思っ
ています。思いの共通化が
抜かっていたかもしれま
せん。今後において、ど
ういう事業においても、
町民の皆さんの声が反映
できるような進め方をし
ていきたいと思ってい
るところでございます。

プロジェクト事業に協働の考えを!!
町民の声が反映できる進め方をします

委員長 上田 勝 幸

理念・指針徹底の管理シート導入で

職員の意識改革進む香住病院

一. はじめに

平成24年度の重点調査として地域福祉と公共交通（前号視察報告参照）及び、医療現場の視察、防災対策、一般廃棄物処理基本計画、地域福祉計画等を調査し、その他当面する諸問題に鋭意取り組みました。

委員会開催回数は12回、主な調査項目は表のとおりです。

二. 医師確保は、重要な緊急課題

病院と各診療所の視察と香住病院の取り組みを通して、町内医療を実感しました。

香住病院の医師は、この4年間に順次定年を迎えます。診療所医師不足もあわせ、医師確保は緊急の課題であります。医師募集や八鹿病院、豊岡病院等の病院や民間医

副委員長	田野 哲夫
委員	谷口 眞治
	岡田 公男
	浜上 勇人
	吉田 増夫
	西川 誠一

との関係を密にし、医療の充実を行なうよう求めました。

また、香住病院の職員体制はギリギリではあります。理念・指針の徹底に管理シートを導入し、職員の意識改革が進みつつあると病院事業管理者から報告を受けました。

三. 防災行政無線はデジタル化し統一へ

デジタル化と共に全町統一システムの導入（概算事業費12億円）は、平成26年度から小代区、平成27年度から村岡区、平成28年度から香住区の順

に運用を開始する計画で進みます。香住区の整備については、今後も総務省との協議が必要とされています。また、子局と役場で「双方向」のやりとりが可能なこと、屋外拡声子局の増設や再送信子局を設置すること、事業費は国の補助がないため合併特例債を充てる等、報告を受けました。

地域の防災対策は、消防団と自主防災組織との連携した取り組み、要援護者の避難支援の訓練、現場職員の職責、津波対策など問題点の把握に努

めました。津波ハザードマップの作成等、今後の防災事業の充実を求めました。



整備された避難道と標示板

主な所管事務調査・付託案件審査

委員会と開催日	調査事項
第2回 5月10日	1) 香住病院・村岡病院並びに国保診療所の視察
第3回 6月14日	1) 請願「縁故地使用料の見直しについて」の審査＝不採択 2) 意見書「県立医療機関の適正配置を求める意見書」の審査＝原案可決 3) 意見書「国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書」の審査＝原案可決
第4回 6月29日	1) 平成23年度公立香住病院企業会計決算審査＝原案認定 2) 一般廃棄物処理基本計画(改訂版)について
第5回 7月19日	1) 公共交通対策及び在宅者支援対策について 2) 上記対策について、香美町社会福祉協議会との意見交換
第6回 8月2日	1) 防災行政無線事業の方針について 2) 地域防災対策(総合防災訓練)について
第7回 9月25日	1) 請願「過疎地の郵便局のサービス水準を堅持する件」の審査＝採択、同趣旨の意見書案を提案
第8回 10月12日	1) 一般廃棄物処理基本計画(改訂版)について
10月30日～31日	1) 岡山県久米南町視察研修「町民バスの取り組みについて」 2) 鳥取県大山町視察研修「デマンド方式による地域内交通」
第9回 11月12日	1) 視察研修のまとめ
第11回 1月30日	1) 香美町地域福祉計画策定の進捗状況について 2) 香美町健康増進計画・食育推進計画策定の進捗状況について

委員長 西村伸一

香美町の意思表示＝下宿費補助

村岡高校2学級復元と香住高校120人継続へ



下宿費補助で生徒数増加を期待

一．はじめに

平成24年度の重点調査として、町内現地視察と町内各産業団体との意見交換を行いました。また、児童生徒数が減少する中、学校教育の在り方、高等学校存続策等、当面する諸問題に鋭意取り組みました。

委員会開催回数は12回、主な調査項目は表のとおりです。

副委員長	植田隆博
委員	小林立明
	西坂利秀
	森本利秋
	山本賢司
	岸本正人
	寺川秀志

二．町内企業の技術継承の支援を若者定住につなげるために

町内経営者・後継者の方との意見交換では、「自社製品の活用を考えるとできないか。」「若

主な所管事務調査・付託案件審査

委員会と開催日	調査事項
第1回 4月15日	1) 豪雪による梨の被害状況について
第2回 5月22日	1) 村岡給食センターの新設に伴う用地について
第3回 6月15日	1) 請願「少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度の2分の1復元に関する意見書提出」の審査＝採択、同趣旨の意見書案を提案
第4回 6月28日	1) 農地・農業用施設の災害復旧事業の進捗状況について 2) 小水力発電の調査結果について 3) 海岸漂着物処理について 4) 上水道事業企業会計決算審査＝原案認定
第5回 7月20日	1) 香美町経営者協議会との意見交換
第6回 8月22日	1) 村岡有機センターの処理機故障について（現地調査） 2) 教育環境調査について
第7回 9月24日	1) 請願「香美町の高校教育を守る方策について」の審査＝採択 2) 香住区の若者経営者及び後継者との意見交換 3) 国道178号の一部路線払い下げについて
10月16日～17日	1) 高知県梶原町視察研修「再生可能エネルギーの町づくりについて」
第8回 11月9日	1) 高校の生徒の下宿費補助金交付要綱について 2) 県立特別支援学校誘致の経過について 3) 村岡学校給食センターの整備について
第9回 12月17日	1) 畜産農家代表者との意見交換
第10回 1月31日	1) 村岡区肉用雌牛貸付基金及び小代区畜産経営安定貸付基金の運用について 2) 公共建築物等における木材利用の促進に関する方針について
第11回 2月14日	1) 村岡小学校耐震化工事及び村岡給食センター建設について

者や女性従業員への技術継承、人づくりを毎年50万円くらいかけています。」「定住を促すため、このとり事業（県の結婚対策）の紹介など出合いの機会をつくっています。」「異業種交流の支援で六次産業化の促進をしてほしい。」など意見を聴くことができました。

町として多様な支援策を具体化し、また議会も提言をすることが求めら

三．香住高、村岡高存続にむけ下宿費補助

香住・村岡高校の町外入学者への下宿費補助事業は、村岡高校2学級復元と香住高校120人を継続させるための県に対するアピール、本町の意思表示と考えています。また、村岡小学校耐震化工事や村岡学校給食センター建設等、順次経過報告を受けてきました。委員会としては、将来の学校の在り方を見据えた小規模校対策並びにふるさと教育を通して、本町を愛する子ども達が育つことを期待してやみません。

いんぷいぶい

(香住区)

今回は、香住区鑑で女性パワーを發揮して二人三脚で地域づくりに活動されている藤原雅子さんと坂本恵子さんに話を伺いました。



藤原雅子さんと坂本恵子さん

会の名称は
鑑 雅(みやび)の会と
いいます。

役職とお名前は
会長をさせていただ
いている藤原雅子です。
会計の坂本恵子です。

発足年月日は
平成6年3月13日に発
足しましたが、もう20年



全員集合で～す。(鑑区会館)

になります。

現在の会員数は

13人で頑張っています。

会員の構成(年齢、職業等)は

15歳から62歳までの女性です。職業は自営業・看護師・会社員・学生など多士済々な方たちです。

会の目的は

女性パワーで、銭太鼓(かさ踊り・鈴心(すずこ))を通して元気で楽しい仲間づくりや地域の活性化になればと思っています。

会費、運営費等は

毎月1,000円いただいています。

日常の主な活動は

年に一度、藤間流の家元をお迎えして新曲を習っています。また、イベントなどへの参加依頼があれば喜んで参加させていきたいと思います。

苦勞が報われたことは

新曲を舞台で発表して、熱い拍手をもらった時に満足感と達成感で苦勞が報われたと感じます。また、素敵な仲間と舞台の醍醐味を味わえたことに感謝しています。

今後の活動目標は

健康教室のつもりで未永く、元気に楽しく仲間く、おかしく活動したいと思っています。

地域との連携(関わり)は

余部地区文化祭、敬老会などで踊り、応援していただいていますので、それが地区との関わりになっています。



あまるべ道の駅オープニング



香住文化協会祭 (香住区中央公民館)

議会に関して何かありましたら

いつも町民の目線で、町民のための町づくりをお願いします。香美町が安全で安心して暮らせる元気な町づくりを期待いたします。

鑑 雅の会の足跡

平成6年3月13日、鑑「雅の会」を13人の女性で、地域に根ざした活動を目標に結成する。また、宮坂流に従事して銭太鼓を習う。後に津山藤間流に従事し、鈴心(すずこ)かさ踊りを習う。その間、数々のイベントに参加し、好評を得る。現在までの演目は、銭太鼓17曲、鈴心2曲、かさ踊り1曲。

編集後記

平成21年4月の選挙で議員になり広報委員として議会だよりに取り組んできました。全委員がいかにして町民の方々に読みやすく分かりやすい誌面を作るか腐心しました。議会はインターネットや地域局に据えられたテレビで見ることができ傍聴もできます。議事録も公開しています。

このような状況下で限られた文字数での誌面づくり。多くの方々に読んでいただきたいを、そのような想いを持って全委員が取り組んできましたがどうだったでしょうか。ご愛読ありがとうございます。(U)

編集発行責任者

議長 吉田 範明

議会広報特別委員会

委員長 田野 哲夫
副委員長 植田 隆博
委員 西坂 秀美
委員 浜上 勇人
委員 山本 賢司
委員 西川 誠一
委員 寺川 秀志